

PRESS RELEASE



やまがたの上質ないいもの。
その魅力をもっと伝えたい。
この新しいブランドマークを旗印に、
山形のいいものの魅力を伝えていきます。

令和5年9月1日

県政記者クラブ報道機関 各位

山形県産業賞委員会事務局
(山形県産業労働部産業創造振興課)

令和5年度山形県産業賞及び山形県科学技術賞受賞者の決定について

本日、山形県産業賞委員会を開催し、山形県産業賞及び山形県科学技術賞の受賞者を下記のとおり決定しましたのでお知らせします。

記

1 本年度の受賞者（功績概要は別添のとおり）

山形県産業賞（五十音順：敬称略）
(受賞者)

榊原 憲二（さかきばら けんじ）
三和油脂株式会社
鈴木 富士雄（すずき ふじお）
株式会社ヤマコン

(市町村)
山形市
天童市
庄内町
山形市

山形県科学技術賞 該当者なし

2 贈呈式

日時：令和5年11月11日（土）午前10時30分から
場所：山形県郷土館「文翔館」
その他：贈呈式は、齋藤茂吉文化賞と合同で行う。

3 賞の概要

目的：本県産業及び科学技術の振興に資するため、県内において産業や科学技術の発展に貢献し、その功績顕著な個人又は団体を顕彰する。
沿革：「山形県産業賞」は、浦本政三郎科学技術賞（昭和37～42年度）、山形県科学賞（昭和44～46年度）を拡大継承して昭和47年度に創設された。昨年度までの受賞者は、個人108名、団体69となっている。「山形県科学技術賞」は、平成2年度に産業賞の特別賞として創設され、昨年度までの受賞者は23名となっている。

問い合わせ先 産業創造振興課 石井
電話：023-630-2357
報道監 産業労働部次長 岡崎

功 績 概 要 書

1 受賞者

住 所 山形市

氏 名 榊原 憲二 氏

年 齢 65 歳

現 職 ミクロン精密株式会社 代表取締役社長
山形経済同友会 副代表幹事
やまがた A I 部運営コンソーシアム 副会長

2 受賞理由

本県の製造業を代表するミクロン精密株式会社の代表者として、本県産業の発展に大きく貢献している。また、経済団体の要職にあり、地域経済のけん引役として手腕を発揮するとともに、地域貢献活動にも積極的に取り組み、その貢献度は非常に高い。

やまがた A I 部運営コンソーシアム役員として、県内高校生を対象とした A I 学習を通じた教育支援活動などを通じ、地域人材の育成支援に貢献している。

大学等の研究機関と連携し、知財出願等を行い、産学官連携を実践している。

3 具体的功績

(1) 本県製造業の代表的企業であるミクロン精密株式会社の代表者であり、県内自動車関連産業のキーマンとして県内製造業に対する影響力も大きい人物。平成25年8月に R & D センター（研究開発拠点）を新設、平成28年3月にみはらしの丘への工場新設を行うなど同社の事業拡大を指揮した。研究開発の成果として、機械振興賞の受賞や、ものづくり日本大賞の東北経済産業局長賞を受賞するなどのグローバルに通用する高い技術、成果を出している。また、山形大学医学部と連携した医療用機器開発の取組など、産学官連携を行っている。

(2) 企業活動以外でも、やまがた A I 部運営コンソーシアム副会長として、A I 学習を通じた教育支援・生徒の支援育成に貢献している。地域貢献や人材育成に尽力しており、地域社会への貢献度は非常に高い。

(3) 山形経済同友会副代表幹事の要職を担い、地域産業支援に貢献している。

功 績 概 要 書

1 受賞者

所在地 天童市
団体名 三和油脂株式会社
代表者名 代表取締役社長 山口 與左衛門

2 受賞理由

持続的な企業価値の向上を目指して SDGs を企業経営に導入し、先鋭的な取組を推進している企業が増えているなか、当社は長年家畜の飼料として出荷されてきた残渣（搾油後の米ぬか）の米ぬか食品としての開発に着手し、平成 17 年に日本で初めて製品化に成功している。

3 具体的功績

- (1) 当社は東北・北海道で唯一、こめ油を抽出から精製まで一貫して手掛けている企業である。健康食用油が注目されている昨今、唯一の国産食用油でもあるこめ油は、地産池消として学校給食で使われるほか、地場産業に活用して地域の活性化につながる油としても利用されている。また、家畜の飼料として出荷されていた残渣を、有機溶剤を使用しない独自の圧搾技法により加工し、脱脂した米ぬかの食品利用を可能にして日本初の製品化に成功した。
- (2) 「水田を油田に」のスローガンのもと、地域全体が発展する循環型社会の実現を目指し、令和元年に「米および油糧米が創る新産業に係る研究開発プラットフォーム」を設立した。健康食品の生産だけでなく、地元での雇用創出や休耕田の再活用を見据えた取組を積極的に実施している。
- (3) 米ぬかの有効活用を研究する中で、山形大学との共同研究により脱脂後の米ぬかにプラスチックの原料として使用されるフェノール樹脂等を混合した「RBセラミックス」の開発に成功した。高硬度、低摩擦、低摩耗等の特性を持つ炭素材料として、航空機や宇宙関連等の製品への利用が期待されている。

功 績 概 要 書

1 受賞者

住 所 庄内町

氏 名 鈴木 富士雄 氏

年 齢 72 歳

現 職 最上峡芭蕉ライン観光株式会社 代表取締役社長
公益社団法人山形県観光物産協会 副会長
やまがた観光キャンペーン推進協議会 副会長
やまがたインバウンド協議会 副会長
山形県教育旅行誘致協議会 副会長
戸沢村観光物産協会 会長

2 受賞理由

最上峡芭蕉ライン観光株式会社代表取締役社長及び最上川交通株式会社代表取締役社長として、最上地区の観光物産業界及び交通業界の中核的な役割を担い、最上地区のみならず、全県の観光物産及び交通業界の振興に大いに貢献した。

また、戸沢村観光物産協会会長及び公益社団法人山形県観光物産協会副会長、やまがた観光キャンペーン推進協議会副会長の要職を歴任し、卓越した見識と指導力により厚い信頼を集め、本県の観光物産の振興に尽力した。

3 具体的功績

- (1) JR各社と共同で全国展開した平成26年の山形デスティネーションキャンペーン及び令和元年の新潟県・庄内エリアデスティネーションキャンペーンにおいて、山形県の代表の一人として卓越した指導力及び調整力等により大成功に導いた。
- (2) やまがたインバウンド協議会副会長及び山形県教育旅行誘致協議会副会長として積極的に活動し、台湾からの教育旅行誘致やインバウンドの誘客に努め、順調に業績を伸ばした。
- (3) 最上峡芭蕉ライン観光株式会社代表取締役社長として、山形県の母なる最上川の風光明媚な最上峡を国内外に発信し、「プロが選ぶ水上観光船30選」において、過去6回開催中、第1位を4回獲得する快挙を達成した。

功 績 概 要 書

1 受賞者

所在地 山形市
団体名 株式会社ヤマコン
代表者名 代表取締役社長 佐藤 隆彦

2 受賞理由

創業以来、県内は勿論、近隣の県や東京都など、県外にも営業所を開設、さらには同業者の吸収合併等を行い、企業および業容を拡大し、現在では日本有数のコンクリート圧送業者として、その地位を確立している。また、ビル建設には不可欠な「コンクリート打設」技術の向上を図るとともに、最新設備を導入し、常に先を見据えた経営方針により、大手ゼネコンからも高い評価と信頼を得ている。

業容が拡大する一方、社内での圧送技能大会などの社員教育の充実や、グループ会社一体となった工事の安全対策にも力を入れており、それらの取組は、他のコンクリート圧送事業所の模範となっている。

3 具体的功績

- (1) 2020年東京オリンピックの主会場である新国立競技場工事、羽田空港の滑走路工事といったインフラ関連工事を県内外で手掛けており、当社の技術力の高さは業界内でも評価されている。
- (2) 代表者主導のもと、業界全体の発展を期すため、山形県コンクリート圧送協会を設立。協会の活動として安全および技術講習会等を開催し、労働災害防止や施工技術の向上等に努めている。また、代表者は（一社）全国コンクリート圧送事業団体連合会の会長を務めており、会員企業の繁栄に貢献している。
- (3) 平成22年6月にベトナムの大手建設会社との間に業務提携を結び、海外展開の足掛かりを得るとともに、ベトナム人をはじめ中国などから多くの技能実習生を受け入れており、平成30年3月には、国土交通省の優秀外国人建設就労者表彰を当社の外国人就労者が受賞するなど、国際協力にも大きく貢献している。